

〈研究ノート〉

## 家庭におけるエコ活動に関する若干の考察

大澤 正 治

### Note on Eco-Activities in Household Sector

Osawa, Masaharu

#### Abstract

As awareness has grown of the need to cut pollution and waste, new technologies and consciousness have been developed in the country and community daily life.

Toward the environmentally intensive life people do various eco-activities (including energy conservation). This report aims to analyze these activities from the point of environmental economics and sociology.

For this report I actually tried to collect materials hearing people lived in Tahara city at the Thara ECO-Festa.

#### 1. はじめに

程度は別として、現代社会におけるキーワードとして、「環境」への関心が高まっていることに対する異論はもうないであろう。

「エコ」という言葉を知るようになる年齢はいつ頃かという調査結果は知

らないが、おそらく、小学校入学以前でもかなりの子供たちが十分に使いこなしている言葉ではないだろうか。

人間がいつ頃からエコ活動を始めたのかというこのような質問は愚問であり、人間は、大気の中で、環境との係わりの中でしか活動できないと言える。

では、「エコ」という概念が使われるようになったのはいつ頃か？

「エコ」という概念がわが国で定着したのは、1970年代の「公害」と考えたい。その根拠として、わが国では、それまでの廃棄物処理の中心的根拠は環境の保護ではなく、人間の衛生管理であった。わが国だけではなく、伝染病に対する対策が「エコ」認識のきっかけとなっている国々が多い。

つまり、人間が自らの足元に対する関心の視野を拡大し、「エコ」にまで広げている。

歴史的に、「エコ」の概念をふり返ると、人間の「エコ」への係わりの実態は、人類の歴史とともに始まっているのに対して、「エコ」への認識の歴史は極めて浅く、しかも、急速に伝播していると言える。

このような観点に注目すると、「エコ」に関する誤解が多いことも当然なことのように思えるとともに、「エコ」に関する正しい認識への整理はこれから始まると考えることができる。

気が遠くなりそうな話であるが、私は、「エコ」に関して知らないことがたくさんある（あるいは、知らないことがあることにも気づいていないことがたくさんある）。一方で、人類の歴史をふり返ると、「エコ」経験も夥しく積み重ねられていることも事実である。

「エコ」を研究する一人として、大いに勇気をもつところである。

ところが、そのエコ活動の実践の現実感については気をつけなければならぬことがある。

日頃、接触する学生たちに聞いても、「エコ」への意識はテレビ、新聞などマスコミを通じて、環境教育による教師の講話を通じてという間接的であ

## 家庭におけるエコ活動に関する若干の考察

る場合が多い。

繰り返すが、人間が昔から、環境の中で直接的に暮らしているものの、情報伝達の普及により、環境を感じる事が急速に間接的になってきている。

本稿では、一つの調査を実施し、人々と「エコ」との距離を計測してみようと試みた。

## 2. エコ活動に関する実態調査から

エコ活動の普及、啓発のために2013年8月4日、田原文化会館で開催されたエコフェスタ2013（主催、たはらエコ・ガーデンシティ地域協議会）への参加を機会として、家庭におけるエコ活動の実態調査を行った。

実態調査の目的は、現在、田原市の家庭ではどのようなエコ活動に関心をもって実施しているか明らかにすることで、エコ活動のメニューを並べてもらい、そのメニューを分析し、その中から、田原の地域性にかなうエコ活動を見い出すことを狙った。

このために、できるだけ多くのメニューを知るとともに、実際に効果を確認している実践済みの現実性をえることを念頭においた。

たはらエコフェスタへの来場者は多く、例年の来場者実績から家族連れが多いことから調査場所及び調査対象者としては適性があると判断した。エコ・メニューの選定者として親子づれにターゲットをあて、日常生活を振り返ってもらいながら、代表的なメニューを書き出してもらうことを考えた。

この調査は、「満点の星、満点のエコ経験」と名づけ、自ら実践するエコ活動にとどまらず、実に多くのエコ活動があることを知ってもらうことを求め、その多くのメニューの中からより効果のあるメニューを探求することの重要性を訴える意図を含めた。

さらに、そのエコ活動の有効なタイミングの重要性を知ってもらう意図から、メニューを夏昼、春秋昼、冬昼、夏夜、春秋夜、冬夜に分類することを

試みた。抽象的なエコ活動の概念に具体性をもたせ、実際に推進する観点から最適なタイミングを意識することは重要であると考えたためである。もつとも、硬直的ではなく柔軟にタイミングを見はからう持続性を念頭におくことも重要であるが、そのようにタイミングを特定できない場合は、結果的に、春秋に分類した。その時期を見定める事自体、エコ活動のために重要なことである。

タイミングの重要性に気づけば、ライフスタイルの変更などタイミングを自らつくることに積極的になると推察する。

今回の調査により、人数にして136人の協力をえて、別表に示す75種類のメニュー（表現が酷似しているものは一つのメニューに集約した）が選定された。

以下、指摘されたエコ活動メニューを並べて分析を加えるが、言うまでもなく、本調査によりえられた標本数は、一般化した見解を導くには絶対数が不足している。けして、6万5千人の人口の田原市におけるエコ活動を代表しているとは言えず、また、指摘を受けた人々が田原市在住の人々と確認したわけではない。従って、分析にあたっては、指摘されたメニューの多様性に注目することとし、どのメニューが多く指摘されたか等については、今後のさらなる調査を待たなければ軽々に、論評することはできないと考えている。

むしろ、全提出件数148件のメニューのうち、重なった指摘が約半数しかなかったことから、様々なエコ活動のメニューがあり、人々はそれぞれの状況にてらし、工夫した、無理のないエコ活動を行っている結果をえたと考えるのではないかと考えている。また、指摘されたメニューのほとんどが実際に実施している姿を目に浮かぶことができることから、今回は、極めて真摯な協力をえたと考えている。

先ず、最初に、75種類のエコ活動メニューをみて、改めて、エコ活動は

## 家庭におけるエコ活動に関する若干の考察

多様であることを認識した。別表では、これらのメニューを分類せずに羅列してある。エコ活動の多様性からメニューを分類することの難しさを悟ったからである。

環境制約緩和のためのエコ活動と資源制約緩和のためのエコ活動の分類さえも実際には難しく、それぞれのエコ活動の効果が重層的に外部性を発揮していることもわかった。つまるところ、人間の活動はすべてエコ活動としての側面があるのではないかと、仰々しくエコ活動と呼ばなくとも人間が行う活動はすべてエコ活動に結びつけられないことはないと思われる。

このことを裏返して言えば、何のためにエコ活動を行っているのか、その目的をはっきり認識しなければ、無意味なエコ活動になり期待される効果を受けこなくなってしまう、あるいは他人に不利益をあたえることが懸念される。

指摘されたメニューからえられる効果を洗い出してみると、「かさなる効果」にみるとおり、エコの実現の他に、健康のためにもなるメニューが多いことがわかった。LOHASが普及しているエコ活動の実態を物語っているのではないかという仮説が考えられる。大きな環境へは健康な丈夫な体で立ち向かうべきである。

なお、「かさなる効果」から生物多様性をテーマとするエコ活動（「生態保全」として整理）が今回は少なかった。

日本一の農業地域であり、自然豊かな田原市においてもエコは自然環境よりも人間の暮らしを基軸として考えてしまっている傾向があるのではないかと思われる。また、エコ活動の舞台も自らの生活の場に限定し、海外も含む他地域のエコ活動には無関心であったといえる。（もっとも、ゼミ生が家庭内のエコ活動に誘導した影響もあると思われる）

指摘されたエコ活動メニューが多様であると言っても、省エネルギーがらみのメニューが多かった（廃棄物処理等3R関連が少なかった）。とくに、夏に調査を実施したこともあり、冷房需要に関する指摘メニューが多かった。

酷暑の昨今では、熱中症予防の観点から、「がまん型」の冷房用エネルギー需要の削減から上手な冷房用エネルギー供給の工夫へ夏季エネルギー対策が変更されている影響<sup>(注)</sup>も今回、指摘されたメニューから読みとることができる。

暖房対策では、「機器（設備）取替・選択」に整理したとおり、エアコン代替メニューが指摘されているのに対して、冷房対策では、扇風機との併用などエアコン使用を前提とした対策複合化メニューが多い。

(注) 経済産業省による「夏季の節電メニュー（ご家庭の皆様）、東北・東京・中部・北陸・関西・中国・四国・九州」（平成25年4月）の節電メニュー（後述）記載の最後に、「屋内でも熱中症にかかる場合があります。適切な室温管理や水分補給に留意頂く等、十分にご注意ください。特に、ご高齢の方や体調に不安のある方はお気をつけください。」と熱中症に関する注意を喚起している。

冷房対策では扇風機の使用をめぐり、様々な考え方がだされているが、[参考1, 2] で示しているように、最近の報道では扇風機の併用をすすめる考え方が優勢である。

ただし、今回の調査結果では、冷暖房以外の家電製品では冷蔵庫利用のみ指摘され、他の家電製品の扱いに関する工夫が指摘されなかったこと、延命化の工夫が少なかったことが懸念された。

また、商業エネルギー（及び利用機器）の選択、利用に関心が集中しがちであるが、太陽光、太陽熱など無償で使える自然エネルギーへのシフトにもう少し関心をもつ必要があるのではないかと思った。エネルギー利用に関して、経済性のシグナルに敏感である必要があるのではないかと思った（安くすませるという見方ではなく、投資額をどのように回収するか等エネルギー選択における経済性比較の方法論（行政の支援策含む）に関心をもつべきである）。

さらに、将来のHEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）普及のためには、家電機器に対する省エネとともに、太陽光発電などによる創エネ、

## 家庭におけるエコ活動に関する若干の考察

蓄電池など蓄エネへの関心の拡大が望まれているが、今回の調査では、太陽光発電がメニューの一つとして提示されていただけであり、創エネ、蓄エネへの関心は見受けられなかった。

スマートグリッドシステムを意識する将来のエネルギーシステムへ向かって、エコ意識を高める高度な戦略を幅広く考える時期に来ていることを考えると、一工夫をすべきところのように思える。

ところで、今回の調査では、エコ活動の適切なタイミングを意識していた。「見える化」は先ず、タイミングを見極めることから始めるために重要なことと考えたからである。

「節電」を表現するメニューの中でも、「こまめに消す」、「使用しない電気は消す」にはエコ活動のタイミングを見計らう意志があると判断した。節電の重要性について、タイミングを見計らう意志があるかないかの判別を重視することはこれからのエネルギー対策が円滑に進むかどうかの重要な岐路となるように思える。

最近では、電力負荷曲線の理解がかなり進んでいるように見受けられる。しかしながら、[参考1]の随所には、掃除は昼と夜にわける考え方が示されている。「時に従う」メニューは、「ライフスタイルの変更」を伴うケースが多い。「ライフスタイルの変更」は過去に訣別をしなければならず、決して容易なことではない。この難しさを考えると、「人間の精神」「人間の健康」を「かさなる効果」とするエコ活動こそベースとして重要ではないかと考えられる。

最後に、今回の調査では、一人で行うエコ活動の他、共同で実施するエコ活動が多く指摘された。これらのエコ活動は「シェアリング」評価が与えられている。「シェアリング」はエコ活動にとって効果をシェアする他、リスクもシェアし、コスト負担もシェアできる重要な要素である。

ただし、社会がシェアリングのためのルールをつくり、関係者が理解することが前提として要請される。

今回の調査でも、最近、話題となっているウォームシェア、クールシェアとして「まちなか避暑地」として「暑い時は図書館へ行く」メニューが指摘されている。

「まちなか避暑地」に関する松阪市の取り組みを「参考3」に添付した。

この仕組みはエコ活動と公共施設の利用、まちなか活性化を兼ね合わせている。北九州市はこの制度の参加者に「まちひしょカード」を配布し、特典が受けられる制度としているが、松阪市のチャबीカカフェでは、「家のエココン切ってきました！」を合言葉に、特典を与える工夫をしている。

実際に、「まちなか避暑地」に出かけて、クールシェアにあずかっても、家にはまだ家族が残っていればエコ活動になるのだろうか、図書館がクールシェアを求める人で一杯となり、図書館で勉強する人々が入れない話も聞く。社会のルールづくりがしっかりしていれば、立派なエコ活動になるはずであるが、ルールがないとマイナスな効果を拡大する恐れがある。

今回の調査結果を総括すると、田原市ではかなり工夫されたエコ活動を見出し、真摯に取り組んでいると言える。[参考1, 2] など全国レベルの省エネ活動と見比べ、これまで田原市民と接触した経験から考えてみると、田原の地域性あふれるエコ活動は、風呂、朝食、水筒がキーワードではないかと推察する。さらに、田原の地域特性や地域風土に立脚するエコ活動はつきり認識すること即ち田原ブランドのエコ活動を意識し、誇りに思うことも重要なことと考えられる。そのためには、メニューへの取り組みの詳細な分析を行うこと、人々の間でエコ・コミュニケーションを深化させるなど足元の強化をはかるとともに、他地域におけるエコ活動との違いを見出し、田原ブランド・エコを輸出する可能性を追求する方向も考えられる。



別表

たはらエコフェスタ(2013)で収集した田原市民エコ活動

エコ活動	指摘者数	地域性	制約的資源制約	直接的環境制約	自然の力を利用	商業エネルギー			水の循環	物の循環	機器へ設備へ延命化	機器へ設備へ利用方法変更	機器へ設備へ取替・選択	エコグッズ活用	移動手段	シエアリング	ライフスタイルの変更	がまん	3R			時に従う行動	昼夜	季節	冬	人間の精神	かさなる効果	社会形成	生態保全	
						エネ(電力)	エネ(非電力)	熱のカスケード利用											Reduce	Reuse	Recycle									
節電	7		○			○					○							○				○								
電気は使わない	4		○			○												○												
できるだけ電気は使わない	1		○			○					○							○												
使用しない電気は消す	7		○			○					○											○								
電気はこまめに消す	7		○			○					○											○								
こたつによる暖房	1		○				○					○													○					
暖房はつけない	3		○		○								○					○							○	○	○	○	○	○
毛布による暖房	2		○				○						○												○	○	○	○	○	○
厚着による暖房	2		○				○						○												○	○	○	○	○	○
スポーツをして暖まる	2		○				○										○								○	○	○	○	○	○
暖房の温度を一定に	1		○				○					○													○	○	○	○	○	○
ストーブをあまり使わない	2		○				○					○						○							○	○	○	○	○	○
エアコンと扇風機の併用	1		○			○						○													○	○	○	○	○	○
エアコンをやめ扇風機で冷房	1		○				○					○						○							○	○	○	○	○	○
扇風機を使わない	2		○				○					○													○	○	○	○	○	○
自然の風を利用した冷房	1		○		○								○													○	○	○	○	○
扇風機を使う	4		○				○					○													○	○	○	○	○	○
うちわを使う	1		○		○								○													○	○	○	○	○
寝る時、冷房控え目に	2		○				○					○													○	○	○	○	○	○
クーラー温度を28度に設定	2		○				○					○													○	○	○	○	○	○
エアコンの温度をあげる	2		○				○					○													○	○	○	○	○	○
クーラーをあまり使わない	1		○				○					○													○	○	○	○	○	○
クーラーを使わない	1		○				○					○													○	○	○	○	○	○
エアコンを我慢する	1		○				○					○													○	○	○	○	○	○
エアコンなし	5		○				○					○						○												
エアコンをあまり使わない	4		○				○					○																		
エアコン設定温度に気をつかう	1		○				○					○													○	○	○	○	○	○
クーラーから送風へ切りかえる	1		○				○					○													○	○	○	○	○	○
扇風機の位置をかえる	1		○				○					○													○	○	○	○	○	○

家庭におけるエコ活動に関する若干の考察





[参考1]

経済産業省による「夏季の節電メニュー（ご家庭の皆様）、東北・東京・中部・北陸・関西・中国・四国・九州」（平成25年4月）による節電メニュー

家電	基本となる10の節電メニュー	さらに効果を高める節電メニュー
エアコン	<ul style="list-style-type: none"> <li>※室温28℃を心がける。</li> <li>※“すだれ”や“よしず”などで窓からの日差しを和らげる。</li> <li>※無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を利用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※フィルターをこまめに掃除する。</li> <li>・2部屋でそれぞれ使用している場合には、1部屋（1台）に減らして使用する。</li> </ul>
冷蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>※冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないように。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壁との間に適切な間隔を開けて設置する。</li> </ul>
照明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中は不要な照明を消す。</li> </ul>	
テレビ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。</li> </ul>	
温水洗浄便座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用する。</li> <li>・上記の機能がない場合、使わない時はコンセントからプラグを抜く。</li> </ul>	
ジャー炊飯器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存する。</li> </ul>	
待機電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る。</li> <li>長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く。</li> </ul>	
電気ポット		<ul style="list-style-type: none"> <li>・お湯はコンロで沸かし、ポットの電源は切る。</li> </ul>
洗濯機		<ul style="list-style-type: none"> <li>・容量の80%程度を目安にまとめて洗いをする。</li> </ul>
パソコン		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中、短時間であればノートパソコンの電源を抜いて使う。</li> <li>・省電力設定を活用する。</li> </ul>
掃除機		<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙パック式はこまめにパックを交換。</li> <li>※昼間のピーク時はモップやほうきを使う。</li> </ul>
ライフスタイル		<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電のための家事スケジュールを立てる。日中（特に13時～16時）を避けて電気製品を使用する。</li> <li>※外出や旅行による節電。</li> </ul>
契約見直し見える化		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約電圧の見直し（節電メニュー、適切なアンペア設定等）。</li> <li>・電力会社のウェブサイトに登録頂き、消費電力を「見える化」。</li> </ul>

[注] ※：たはらエコフェスタ（2013）で収集した田原市民エコ活動指摘メニュー

## 家庭におけるエコ活動に関する若干の考察

### [参考2]

日本経済新聞2013.6.29より、  
「この夏 我が家の節電術、何でもランキング」

※ 1 位	エアコンに扇風機を併用する
※ 2 位	テレビを見ないときは消す
3 位	冷蔵庫の開閉を控える
※ 4 位	部屋の風通しをよくする
5 位	洗濯物はまとめて洗いをし回数を減らす
6 位	熱いものは冷ましてから冷蔵庫に入れる
7 位	ご飯は炊飯器で保温せず冷蔵庫へ入れる
※ 8 位	家電のプラグをまめに抜く
※ 9 位	エアコンの設定温度を28～30度にする
10位	レースのカーテンやすだれで日差しをカット
11位	家電は主電源から切る
12位	便座暖房や洗浄水の温度を低めに設定
13位	温水洗浄便座のふたはこまめに閉める
※ 14位	冷蔵庫は余裕をもたせ冷凍庫は一杯に
15位	冷感グッズで体を冷やす

### (調査の方法)

2013.6調査。インターネット調査会社マクロミルによる。  
全国の20～60代の男女を対象、有効回答数は1030。

[注] ※：たはらエコフェスタ（2013）で収集した田原市民エコ活動指摘メニュー

[参考3]

平成25年度「松阪まちなか避暑地キャンペーン」

「松阪まちなか避暑地キャンペーン」とは、暑い時間帯に家庭でエアコンをつけて過ごすのではなく、まちなかの公共施設や商業施設を市民の皆様にご利用していただくことによって、家庭での節電を支援するとともに、地域での人の交流促進を図ることにより、まちなかの活性化を図るものです。



松阪まちなか避暑地掲示ポスター

キャンペーン実施期間

平成25年7月1日(月)から9月30日(月)までの間

参加協力商業施設等

キャンペーンを実施している商業施設等は以下のとおりです。

施設・店舗名	所在地	電話番号	利用可能日	利用時間	期間中の特典情報など
東邦ガス株式会社 松阪サービスセンター <a href="http://www.tohogas.co.jp/">http://www.tohogas.co.jp/</a>	京町1区30-4	51-7150	月曜日～金曜日(祝祭日・8/14～8/16は除く)	9:00～12:00 13:00～17:00	●当社オリジナル栗原はるみレシジ集をプレゼント
Chabbyカフェ (チャビーカフェ) <a href="http://chabbycafe.com/">http://chabbycafe.com/</a>	石津町461	30-6600	月・水・木・金曜日	14:00～16:00	●禁止事項:喫煙、ペットの同伴 ●特典:利用時間内にご来店の方で、「家のエアコン切ってきました!」の合言葉でお飲み物代金お一人一杯を半額にてサービス。
ホテル ザ・グランコート 松阪 <a href="http://www.the-grandcourt.com">http://www.the-grandcourt.com</a>	宮町238-2	50-5080	毎日	11:00～23:00	ロビーにてドリンクサービスの実施
道の駅 飯高駅	飯高町宮前177	46-1111	月・火・木・金曜日 (8/11～8/16)	13:00～16:00	●利用できるスペース: 休憩館(30畳の畳スペース)、公園、交流館通路の長イス ●有料施設

## 家庭におけるエコ活動に関する若干の考察

<a href="http://www.itakaeki.com">http://www.itakaeki.com</a>			は除く)		コインマッサージ機、天然温泉、レストラン、販売所、そば打ち体験、早朝喫茶、自販機等 ●禁止事項：飲酒・喫煙・宴会等
おもてなし処 夢休庵	平生町47	21-1578	第2・第3土曜日	9:30～15:00	●禁止事項：喫煙 ●特典：お茶の無料サービス
アビタ松阪三雲店	市場庄町1266-1	56-7988	毎日 8/21(水)は定休日	10:00～21:00 日曜日のみ 9:00～21:00	●集めてもらおうキッズカード ご来店1回につき、サービスカウンターでスタンプ一個押印。スタンプを15個ためるとお菓子3個プレゼント。 ※小学生以下に限りです。
株式会社マツダ	春日町1-189		月・火・木・金曜日	9:00～18:00	
ピアゴ 嬉野店	嬉野中川新町4-205	42-8611	毎日 8/21(水)は定休日	10:00～20:00 8/31までは21:00まで営業	
松阪市ショッピングセンターマーム	船江町1392-3	52-4700	毎日	営業時間中	●ご来店スタンプラリー 期間中のご来店につきスタンプ1個押印。30個たまると粗品進呈。 ※スタンプの押印は1日1個限り。 スタンプカード配布及び押印場所は、1Fインフォメーション
(株)漢口農園	本町2175	21-3100	月～金曜日	9:00～18:00	●冷たいお茶サービス
サンテ.アールプラトー	立野町1365	25-3888	月～金曜日	9:00～17:00	●ミネラルウォーターの無料提供 ●禁止事項：喫煙、飲酒
Honda Cars 三重松阪三雲店	市場庄町1288	56-2811	月・火・木・金曜日	10:00～19:00	
トヨタカラーラ三重松阪店	川井町1373-2	51-0029	火～金曜日	9:00～17:30	●冷たい飲み物サービス ●新車カタログ・展示車もぜひ見て触って体験してください。
トヨタカラーラ三重松阪宝塚店	田村町109-1	23-5111	火～金曜日	9:15～17:30	
(株)マルハン 松阪店	大津町694-3	52-3333	毎日(臨時休業あり)	営業時間中	●利用できるスペース：レストスペース(椅子・ソファ) ●禁止事項：18歳未満者の入場、飲酒

※リンク先ページの内容に関するお問い合わせは、各施設・店舗へお願いいたします。

### 公共施設

キャンペーンを実施している公共施設は以下のとおりです。

施設・店舗名	所在地	電話番号	利用可能日	利用時間	期間中の特典情報など
松阪市役所 1階ロビー	殿町1340-1	53-4202 (財務課)	月曜日～金曜日(祝祭日を除く)	8:30～17:15	●市役所1階ロビーでの催し 7/1(月)～7/22(月) 福島・松阪サマーキャンプin波瀬 パネル展 8/1(木)～8/30(金) 戦争と平和を考えるパネル展 8/19 献血9:30～16:00 9/2(月)～9/13(金) 自殺予防対策パネル展 9/17(火)～9/26(木) 動物愛護週間啓発パネル展

松阪競輪場	春日町3-1	23-6111	本場開催・場 外発売の日	10:00～ 16:45頃	<p>●お茶の無料サービス 【注意】 (1)未成年の方は、保護者の方と一緒にしか入場できません。 (2)未成年の方は、車券の購入はできません。 (3)特別観覧席(300円)、サイクルシアター(500円)は有料です。</p>
松阪文化財センター 「はにわ館」	外五曲町1	26-7330	火曜日～日曜 日(祝日の翌 日は休館のた め除く)	9:00～17:00 入館は16:30ま で	<p>●市民ギャラリーの催しもの 6/29(土)～7/7(日) 第三回三重県在住風景写真家展 7/3(水)～7/7(日) かんこ踊り(狐師・松ヶ崎・小阿坂)展 7/30(火)～8/4(日) まつさかのほいくえん園児造形展 8/14(水)～8/18(日) 絵はことばである～井坂とく先生がみる子ども の絵の世界～ 8/17(土)・8/18(日) 子どもの命を守る水～写真と展示品で見るユニ セフ活動～ 8/25(日)～9/1(日) 第70回松阪美術協会展 ●「はにわ館」中学生ボランティアガイド 【期間】7/27(土)～8/3(日) 【時間】平日 13:00～15:00 土日 10:00～12:00 13:00～15:00 【特典】中学生ボランティアガイド実施時間中は、 はにわ館展示が無料でご覧いただけます。 ●「はにわ館」常設・企画展は入場料100円(18歳 以下無料)</p>
第一隣保館	京町54-1	21-2928	月曜日～金曜 日(祝祭日を 除く)	8:30～17:00	<p>●保健室内のヘルストロン、マッサージ機の利用 が20分まで可能(終日) ●新聞あり(中日、伊勢、夕刊三重) ●健康相談 ・午前(9:00～12:00) 7/5(金)、7/9(火)、7/19(金)、7/23(火)、8 /2(金)、8/6(火)、8/16(金)、8/20(火)、8 /30(金)、9/3(火)、9/13(金)、9/17(火)、9 /27(金) ・午後(13:30～16:30) 7/2(火)、7/12(金)、7/16(火)、7/26(金)、7 /30(火)、8/9(金)、8/13(火)、8/23(金)、8 /27(火)、9/6(金)、9/10(火)、9/20(金)、9 /24(火)</p>
飯高地域振興局	飯高町宮前180	46-7111	月曜日～金曜 日(祝祭日を 除く)	8:30～17:15	
嬉野社会福祉セン ター	嬉野権現前町 423-9	42-2718	月曜日～金曜 日(祝祭日を 除く)	8:30～17:15	<p>●ロビーでテレビ視聴、マッサージ機利用可能 ●血圧測定(自動)や介護相談 ●展示スペースで写真や絵の展示</p>
松阪図書館	川井町772-10	21-3190	火曜日～日曜 日(毎月最終金 曜日は休館の ため除く) ※学校の夏休 み期間中は月 曜日も閉館	9:00～19:00	<p>●おはなし会のお知らせ 図書館おはなしコーナーにて ・7/27(土) 15:00～15:45 ・土曜お話しキャラバン15:00～15:30 7/6、7/13、7/20、8/3、8/10、8/17、 8/24、8/31 ・乳幼児向けおはなしキャラバン 7/24(水)、8/28(水) 11:00～11:30 ●夏休み特別教室 「古墳のおはなし」・文化財センターはにわ館見 学 8/4(日) 10:00～ 図書館2階視聴覚室 定員20名 対象:小学校中・高学年</p>



## 家庭におけるエコ活動に関する若干の考察

					申込:7/6(土)～松阪図書館カウンター もしくは電話にて
嬉野図書館	嬉野町1429-1	48-1800	金曜日～水曜日 (毎月最終金曜日は休館のため除く)	9:00～19:00	●たなばたイベント「室内プラネタリウム星たまご&星座のはなし」 7/7(日) 14:30～15:30 ●夏休みイベント「紙すきハガキでお手紙かこう！」 8/6(火)10:00～12:00 ●「ひまわり」おはなし会スペシャル 8/11(日)14:30～15:30

### 注意事項

- ・参加協力店舗の営業時間や公共施設の利用可能日時は、各施設で異なりますので、詳しくは各施設へお問い合わせください。
- ・エアコンの使用については、当日の天候・気温・来場者数などの状況に基づき、施設管理者の判断で運用されます。節電の取り組みを前提とした「松阪まちなか避暑地」であることをご理解ください。
- ・他の利用者や施設の迷惑とならないようマナーをお守りいただくとともに、譲り合いの精神でご利用ください。
- ・施設内において事故等が発生した場合、施設の瑕疵等による場合を除き、利用者の自己責任となりますのでご了承ください。

### キャンペーンの問い合わせ先

- ・商業施設に関する問い合わせ  
商工政策課 TEL:53-4149 FAX:22-0003 E-mail:shok.div@city.matsusaka.mie.jp
- ・公共施設に関する問い合わせ  
各施設の問い合わせは、上記表中記載の連絡先へお願いいたします。
- ・省エネに関するお問い合わせ  
環境課 TEL:53-4425 FAX:26-4322 E-mail:kan.div@city.matsusaka.mie.jp

(資料) 松阪市ホームページ (<http://www.city.matsusaka.mie.jp>)

### 3. 改めて、家庭におけるエコ活動について考える

私たちは、様々なエコ活動を行っている。しかしながら、もともと、人間の暮らしが環境との係わりのもとで実現していたことを考えると、今、すべきことは、改めてエコ活動をするを掲げるのではなく、エコ活動の改善である。よりよいエコ活動を行うために、よりよいエコ活動を維持することとよりよい活動ではない活動を捨てることである。

このためには、私達がやってきた、やっているエコ活動の合理性を評価することが先ず重要となってくる。

デミングサイクルによるPlanからDoへ進むことであり、Check & Actを反映したPlanを行うことである。

この評価において気をつけるべきことは、いわゆる「エコ」だけの基準で評価を行うのではなく、より広い視野から評価を行うことである。なぜならば、「エコ」によって配慮する「環境」は大きい存在であり、複雑な存在であるからである。「環境」を細切れにして考えるのはよくないからである。

エコ活動の直接的なプラス、マイナス効果だけではなく間接的なプラス、マイナス効果を洗い出し、総合化することである。エコ活動の私的費用と外部費用を合算する社会的費用を評価することである。

このためには、これらの様々な費用の「見える化」(公開、及び評価の公平性、評価結果の共有化)が必要となる。ここで障害となることは、「エコ」は精神的なことであると考え、様々な段階で自己満足のなかに閉じ込める風調である。エコ活動の効果を様々な段階で測定するための機器の発達、あるいはその前提として「プロセス」の合体、分解の見える化、そして、費用の見える化のための工夫が役立つ。

また、評価は現時点だけではなく、過去からの申し送られること、将来へ向けた波及の可能性についてもカウントすべきである。実は、このこと

## 家庭におけるエコ活動に関する若干の考察

は、予測すべきことが多くけして容易なことではなく、また、過去から現在、そして将来への時間の価値の変化も見極めることが要請される。当然、エコ活動がもっとも効果を発揮するタイミングも見つけることができるはずである。

これまでの人類の暮らしの歴史とその暮らしのなかでの活動の夥しさをもっと詳しく評価するならば、デミングサイクルにより、もっとPlanの対象となるさらなるメニューが発掘され、Doすべきエコ活動はさらに増えるはずである。

この評価に関する重要性に関連して注目すべきことは、先に指摘した、よりよい活動ではないエコ活動を切り捨てることであるが、「一人一人が努力することが大切」という掛け声のもと、あまり注目されてこなかったのではないと思われる。この切り捨てるために、規制など直接的手段を講じることも有効である。自主性に委ねていたエコ活動には、実は、直接的手段をもっと活用すべきだということになる。

今後のエコ活動のために重要な次のこととして、エコ活動を「見える化」することでエコ活動を人々が共有化し、共同で行うことである。

環境は大きくて複雑である。これに対処するためには、規模の経済性の追求が重要な鍵である。その一つの鍵は技術による効率性であり、もう一つの鍵が人々によるシェアリングである。具体的には、エコ活動をシェアリングするためのルールづくりが要請される。場合によっては、前述した直接的手段にリンクされるルールも有効となる。やはり、自主性を重視するエコ活動の常識を見直す必要がある。

スマートグリッドシステムに代表される情報通信、エネルギーのシステム化が一段と進むこれからの社会では、根本的に、「所有権」から「使用权」への大きな転換をはかることになるが、エコ活動においても、エコ活動に公共性を求め、その一翼を人々が担うように、その概念の変更をあわせることが要請される。

#### 4. さいごに

エコ活動には公共的な性格がある。このため、エコ活動は社会への高い貢献度が優先され、エコ活動に対する社会的責任が求められる。その社会的責任は人々の信頼関係を基盤として認め合うことができる。

このようなことを考えると、環境に対座して行うエコ活動であるが、エコ活動は人々が尊敬し合う間柄で有効となってくる。人々を尊敬し合うこと、即ち、人々に笑顔をみせながらエコ活動を行うことが重要であり、先ず、人々が自身で楽しむことからエコ活動は始まると考えるべきである。自分自身が楽しむことができれば、面倒くさい手間がかかることも苦にはならない。

自分自身で楽しまないエコ活動は自分を不幸にするだけではなく社会全体を不幸にすることを認めて認識すべきである。

ただし、その自分自身が楽しむエコ活動は必ずしも社会のためになるとは限らないことも同時に認識すべきである。

#### 参考文献

- ・大澤正治『自然環境を拝借する社会経済』税務経理協会、平成22年1月
- ・大澤正治『改めて、省エネルギー論への試み』、愛知大学経済論集第170号、2006年3月